

平成20年5月1日

第135号

発行所 広島県歯科医師連盟
広島市中区宝町5-30 TEL (082) 241-8020
編集兼発行人 栢田博昭

広歯連盟 ニュース

HIROSHIRENMEI NEWS

KEEP 20 TEETH TILL YOUR 80



8020運動

80歳で20本以上の自分の歯を保ちましょう



第50回県歯連盟評議員会(3/1)

紙等々で知っておられる
とされるが、こまかな
内容については、診療報
酬改定説明会にて説明が
あると思う。
診療報酬改定について
は、石井みどり議員一人
では成し得ないというこ
とで、いわゆる歯科関連
の議員にお願いし、広島
県の推薦議員にもお集ま
りいただいた。
また、衆参議員会館に
おいて本会の役員が訪れ
て要望書を渡し、診療報
酬改定がプラスになるよ
うお願いしたところであ
る。
次の診療報酬改定にあ
たり、経済財政諮問会議
のなかで1番の問題にな
っている1兆1千億円と
いう社会保障制度の削減
がある。単年度に2千2
百億円、5年かけて削減
していくところだが、こ
れがいまだに足かせにな
っており、これを
撤廃しなければ財
源が確保できな
い。新たな財源を
確保する為にはど
こから捻出する
なければならない。
無財源をうまく
調整したというこ
とで、本来は財源
の無い中のプラス
改定、実質的には
中身を見たら右か
ら左にずらしただ
けの内容となりか
ねないということ
である。

氏名点呼の後、穴村紳
一副会長の開会の辞で始
まり土江健也議長と神原
和暢副議長の進行のも
と、議事録署名者に田辺
直彦(安佐)、歌野原之
(東広島)の両評議員が
指名された。
次に山科会長より「今
回、県歯会100周年、
連盟25周年記念式典・祝
賀会については盛会であ
った。また、これからの
100年の出発の起点で
もあり、執行部一同、会
長としても、会員のた
めに運営を行ななけれ
ばならない、思う気持
ちである。
昨年の夏に、石井みど
り先生が参議院議員選挙
に当選されて以来、この
4月からの診療報酬改定
に石井みどり議員は精
力的に力を注いでおられ
る。内容はもうすでに資
料としていろいろな業界

今回の改定では取扱文
書が少なくなった。また
GTRなどいろいろな歯周
関連の点数を振り付けら
れたが、会員が取り組ん
でいかなければ、増点に
つながらない。このこと
について広島県歯科医師
会は先生方が取り組める
よう、研修会あるいは実
習等かねて運営してい
こうと思っている。
連盟活動に関して、普
段から、各地区の評議員
の先生方には、各地区の
国会議員、県議会議員、
市議会議員と連携をと
っていただきたい。これか
らの展開は、2年後に参
議院議員をもう一人輩出
し、我々の業界を、さら
に違う形にするためには
おのずと連携が必要にな
ってくる。連盟は基本的
には政治的結束力で力を
示せるわけで、代表者を
出す必要があるときは、
出さなければならぬとい
う。そのあたりもご理
解願いたい。本日は昨年
からの連盟活動がひと
段落し、また新たな出
発点と言える。
本日は様々な議案が上
程されているが、ご意見を
賜りたいのでよろしくお
願いしたい」と挨拶があ
った。
続いて報告事項に入
り、荒川信介理事長から
一般事務報告
会計現況報告
中央情勢報告
その他

推薦議員との
連携を重点的に
第50回県歯連盟評議員会

平成20年3月1日(土)午後5時から広島県歯科医師会館6階「ハーモニーホール」に於て、標記の会が開催され、平成20年度事業計画及び予算など5号議案まですべて可決承認された。

平成20年3月28日(金)午後1時より新歯科医師会館「1階大会議室」において、第102回日歯連盟評議員会が開催された。永山一行会長より「ねじれ現象で政治状況は混沌としているが、自民党と民主党が譲り合...」と挨拶があった。続いて国会報告が行われ、新井悦二参議院議員は「歯科医療を改善していくためには会員の団結が必要で、次期参議院選挙でも勝てる職域代表を擁立して頂き、歯科業界の厳しい現状を国民に伝えていく必要がある」と述べ、石井みどり参議院議員は「レセプトオンライン化では、過疎地の歯科医療を支えている高齢の歯科医が診療を続けられなくなる可能性があり、国民からも賛同が得られる方法で修正を求めている。また需給問題では、政府から前向きな答弁を引き出すには至っていないが、資格試験である国家試験で歯科医師の数をコントロールするのは間違っている」というスタンスで活動したい」との旨の国会報告がなされた。引き続き報告に移り、その中で白田氏の弁護士費用返還訴訟について、弁護側は白田氏の行動は日歯連盟の組織防衛のためで、その弁護士費用を連盟が持つのは当然と主張し、連盟の主張と異なるため調停となつていくが、会長選挙の際に横領したとされるものについてはすでに返還しており、また退職金の辞退などにより、自己資産はすでになく見られることから、この調停案を受け取るに至つた経緯が報告された。診療報酬改定については、今回は石井みどり参議院議員はもとより評議員の方々にも陳情をして頂いたが、財政主導で改定が行われたため微増に留まった。次期改定に向けては消費税の目的税化を含めて財源の確保策の提案により更なるプラス改定を勝ち取りたいと報告された。その後、質疑応答が行われ、「需給問題では歯学部学生・卒業生が医学部に編入できるようなシステムを構築するための政治活動を」、「歯科医師国試において約3分の1が不合格になるような状況に「対応を」などの要望があり、それに対して「厚生労働大臣経験者や関口昌一参議院議員とも連携して取り組みたい」との回答がなされた。次いで、議事に移り、第1号議案から第10号議案までのすべての議案が承認可決された。平成20年度の事業計画では、

「職域代表国会議員との連携及び支援体制の確立」、「都道府県歯連盟におけるデンタルミーティング(歯科に理解のある推薦議員との会議)の開催及びそれに対する支援」などが新規事業として盛り込まれ、地区推薦の国会議員とのデンタルミーティングについては積極的に対応して頂きたい。また、日歯連盟員の数についても、前年度比が微減であるため、機構・組織及び政治活動内容の積極的周知を通じて新規入会、再入会を促すためのパンフレットを作成して配布するので、各都道府県においてもご努力願いたいなどの要請があった。そして、次期参議院議員選挙(平成22年7月)については、職域代表候補者を擁立することが決定した。4月中旬に各ブロックに人選を依頼し、5月に第1回目の委員会を開催し、6月から8月には候補者を一本化していききたい。また、候補者は現時点では自民党からの出馬と考えているとの回答がなされた。民主党との連携については、現時点では連盟は自民党の職域支部であり、民主党には職域支部・代表の概念はないと言われているので、表立って民主党との協議等の連携は取れない。民主党の2人の歯科医師の国会議員とも協議の場を持っていないので早急に協議の場の設置を検討したい。国民歯科問題議員連盟や歯科保健法案提出について超党派で行えないかとの質問もあるが、現時点では可能な状況ではないとの説明が行われた。最後に、蒲生洵副会長の閉会の辞で日程を終了した。

第1号議案

平成20年度事業計画

1. 基本方針

昨年7月施行の参議院議員選挙によって生じた衆参のねじれ現象は、政局の混乱のみならず、国民生活へも悪影響を及ぼしつつある。この選挙において、我々の職域代表を何とか国政へ送り込むことはできなかったが、現況に対する危機感から生じた一過の結果であると判断されても否定できない、不確定な要素もある。

本年4月の診療報酬改定は、日歯・日歯連盟の懸命の努力と、医療界を挙げてのロビー活動の結果、微増ながら何とかプラス改定に持って行くことが出来た。

今年度は、今後予想される衆議院総選挙並びに次期参議院選挙を見据え、確固たる連盟組織の体制整備、及び得票につながる、細分化した緻密な集票組織の基盤確立を重点的に図っていききたい。

連盟員が積極的に活動され、その努力が結実し、もって安心して共生していける、活気あふれる組織となるよう、総力を結集していききたい。

2. 事業項目

- 連盟員の相互協力体制の確立と団結力の醸成に関する事項
- 各都市支部の連盟活動に対する支援に関する事項
- 連盟広報活動に関する事項
- 関係機関の医政問題に関する事項
- 日本歯科医師連盟との連絡調整に関する事項
- 参議院比例代表候補者への支援に関する事項
- 自由民主党職域支部及び職域代表候補者広島後援会の事業活動への協力に関する事項
- 推薦国会議員、地方議会議員及び首長選挙における本連盟推薦候補者に対する支援活動に関する事項
- 推薦国会議員、県議会議員、市町議会議員及び首長との連絡調整に関する事項
- その他政治的問題に関する事項

タンズで活動したい」との旨の国会報告がなされた。引き続き報告に移り、その中で白田氏の弁護士費用返還訴訟について、弁護側は白田氏の行動は日歯連盟の組織防衛のためで、その弁護士費用を連盟が持つのは当然と主張し、連盟の主張と異なるため調停となつていくが、会長選挙の際に横領したとされるものについてはすでに返還しており、また退職金の辞退などにより、自己資産はすでになく見られることから、この調停案を受け取るに至つた経緯が報告された。診療報酬改定については、今回は石井みどり参議院議員はもとより評議員の方々にも陳情をして頂いたが、財政主導で改定が行われたため微増に留まった。次期改定に向けては消費税の目的税化を含めて財源の確保策の提案により更なるプラス改定を勝ち取りたいと報告された。その後、質疑応答が行われ、「需給問題では歯学部学生・卒業生が医学部に編入できるようなシステムを構築するための政治活動を」、「歯科医師国試において約3分の1が不合格になるような状況に「対応を」などの要望があり、それに対して「厚生労働大臣経験者や関口昌一参議院議員とも連携して取り組みたい」との回答がなされた。次いで、議事に移り、第1号議案から第10号議案までのすべての議案が承認可決された。平成20年度の事業計画では、

平成19年度 広島県歯科医師連盟

第2回「林正夫後援会」総会



挨拶する林正夫広島県議会議長

平成20年3月1日(土)評議員会終了後に県歯会館6階「ハーモニホール」に於て標記の会が開催された。...

平成19年度 第4回連盟理事会

3月1日(土)午後4時より県歯会館4階「役員会議室」に於て標記理事会が開催された。...

次に荒川信介理事長より次の報告があった。一般会務報告、会計現況報告、中央情勢報告、その他...



第4回理事会(3/1)

連盟支部だより

安佐支部

「河井克行を育てる会」合同新年交歓会

1月10日(木)午前11時より広島市中区のAN Aクラウンプラザホテル「オーキッド」で標記の会が開催された。...

石井みどり参議院議員訪問

2月3日(日)午前11時より安佐歯科医師会理事の有志13名により石井みどり参議院議員訪問と国会議事堂見学が行われた。...

増原義剛後援会平成20年新春の集い

3月1日(土)午前11時より広島市中区のAN Aクラウンプラザホテル「オーキッド」で標記の会が開催された。...

石橋良三後援会早春の集い

3月9日(日)午後0時より広島市中区のAN Aクラウンプラザホテル「オーキッド」で標記の会が700名の参加で開催された。...

六村紳一氏 県連大会表彰を受章



六村紳一氏(安佐)は、歯科医師支部において、広島県連大会表彰を受けられた。...

連盟会務報告

(平成19年8月29日、平成20年2月29日)

- 第3回連盟理事会 11・10
第49回連盟臨時評議員会 11・14
平口洋君を激励する集い 11・14
都道府県連盟会長会議 11・14
日歯連盟理事会 11・14
第101回日歯連盟評議員会 11・14
増原義剛君と語る会 11・14
藤田博之広島市議会議長・全国市議会議長会会長就任を祝う会 11・14
石井みどり中央後援会顧問会議 11・14
寺田稔君を励ます会 11・14
斎藤鉄夫君を励ます会 11・14
日歯連盟理事会 11・14
河井あんり県議会議察商工労働委員長就任祝賀会 11・14
日歯連盟時局対策委員会第3回診療報酬問題対応チーム 11・14



石井みどり参議院議員とともに

石井議員は、次の日からまた公務で海外に行かれるとのこと、時間のない中であつたが、温かく迎えて下さり、非常に有意義なひと時が過ぎた。

〔広島県歯科医師連盟からのお知らせ〕

広島県歯科医師連盟では、連盟員の皆様に来るだけ早い情報を提供するために、広歯連盟のホームページを開設するとともに、「連盟通信」を発行することを予定しております。...

連絡先 730-0043 広島市中区富士見町11-9 広島県歯科医師連盟宛 TEL 082-241-5525 FAX 082-246-0389

編集後記

新年度になり、歯科に限らず医療界全体で大きな変化を生じているのを目の当たりにして、これからは、いかなる変革があるのか不安な気がしている。...

最近の石井みどり氏は、実に精力的に活動し、着実に道すじをつくっているようだ。「国民歯科問題議員連盟」を設立するなど、他の政策と上手くバランスを取りながら体制作りの成果をあげており、今後その活動内容に期待したい。(T) 4月に診療報酬改定があり1カ月がたった。あまり実感はまだないが久しぶりのプラス改定であった。これから歯科界を良くしていくのに一緒に頑張って歯科に理解のある推薦議員の人たちをしっかりと支援していきたい。(S) 今回の診療報酬プラス改定は、予算の決まる直前に東京で行われた地元推薦国会議員200名と全国都道府県連盟役員170名との懇談会成功の結果とも言える。...